



やまもと さとし 議員
山本 聡

人口上昇を目指す 地域づくりを問う

議員 人口ビジョンによると、高齢化・晩婚化・未婚化により、自然動態・社会動態ともに減少傾向にある、としている。企業誘致に成果が出ているものの、結果的に人口増となっていない要因は何か。また、企業誘致の際、税等の優遇措置など考えられないか。

政策部長 誘致した企業の操業が本格化されれば人口減少の改善につながるかと考えている。優遇措置も一つの方法だが、細やかな支援が必要である。社会動態改善に向けた取組を継続的に実施したい。

議員 就業形態の柔軟化による島しょ部への企業誘致のため、情報インフラ整備の予定をたずねる。

政策部長 高度無線環境を実現す



観光行政に ついて問う

るための事業の検討をしている。総合計画、離島振興計画で定義づけてできるよう研究を進めていく。

議員 コロナ禍を契機に、観光政策を郷土愛のような広く市民ぐるみの大きなテーマとして捉え直したい。観光連盟の在り方、この冬開催する「シマフカナデル」の取組姿勢についてたずねる。

産業部長 観光連盟は組織の独立強化のため法人化を進めている。当面の間、支援は必要と考えるが、収益事業の開拓等で、財政基盤の確立を図り自助努力を行うようにする。「シマフカナデル」の主催

者はブランド協議会であり、市と教育委員会が後援し、バックアップをしている。プレイベントに引き続き、2月の本イベントに向けて連携を図りながら協力していく。



くわだ まさあき 議員
桑田昌哲

市のごみ袋有料化はなぜ？ ごみの分別を考える

議員 ごみ袋有料化のメリットも含め、基本的な考え方について本市の見解をたずねる。

市長 ごみ量が削減されれば、最終処分場・新ごみ焼却場に対する本市負担金の削減とごみ処理費用が削減できる。有料化による収入で生ごみ処理機設置補助金の増額や分別ステーション設置費等で市民の皆様への還元ができる。

議員 事業ごみの削減も促進できないか。事業者からも分別等で少しでも減量したいという声もある。

市民生活部長 事業所から出るごみはそれぞれの事業形態によって処理の仕方も様々であり、それぞれに応じた形で事業所の方に啓発を頑張っていきたい。



新型コロナウイルス第3波を考え 市民病院でのPCR検査体制を

議員 市民病院に新型コロナウイルス感染症の発症者病棟を作ることだが、患者の受け入れ体制はどのように想定しているか。

市長 4月から病棟4階を利用し、機器材の整備を整え、病床は最大8床、県からの依頼で重症ではない患者を受け入れ、市民病院の医師・看護師が対応する。

議員 市民病院でのPCR検査の実施について検討しているか。

病院管理局長 現在は医師の判断により1日3〜4名分を検査し、翌日業者から結果が出る状況である。機械を導入し、自前で検査ができるよう整備を整えている。希望者も検査できるよう検討中で、検査結果は2時間ほどで判明する。